

決算説明資料

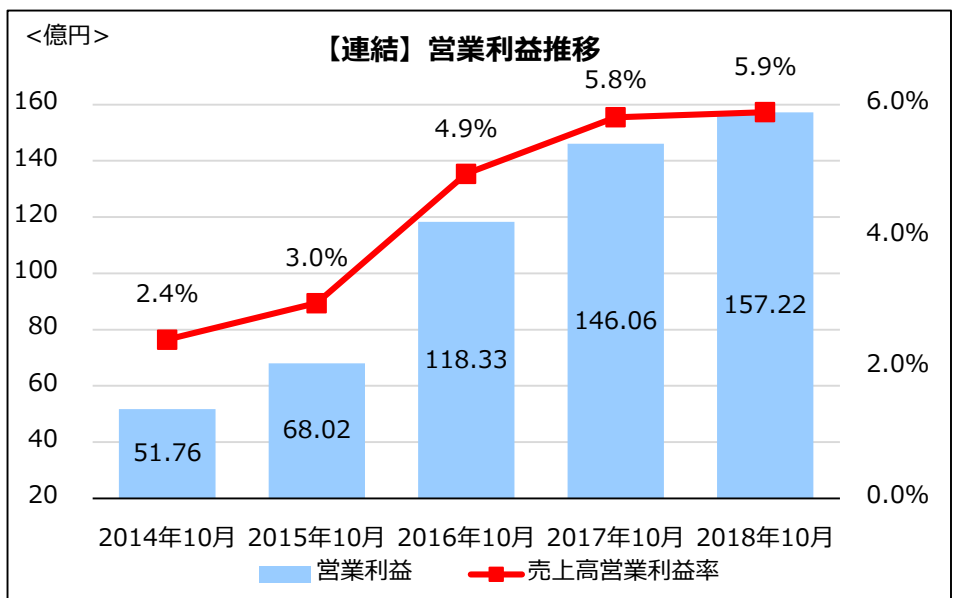
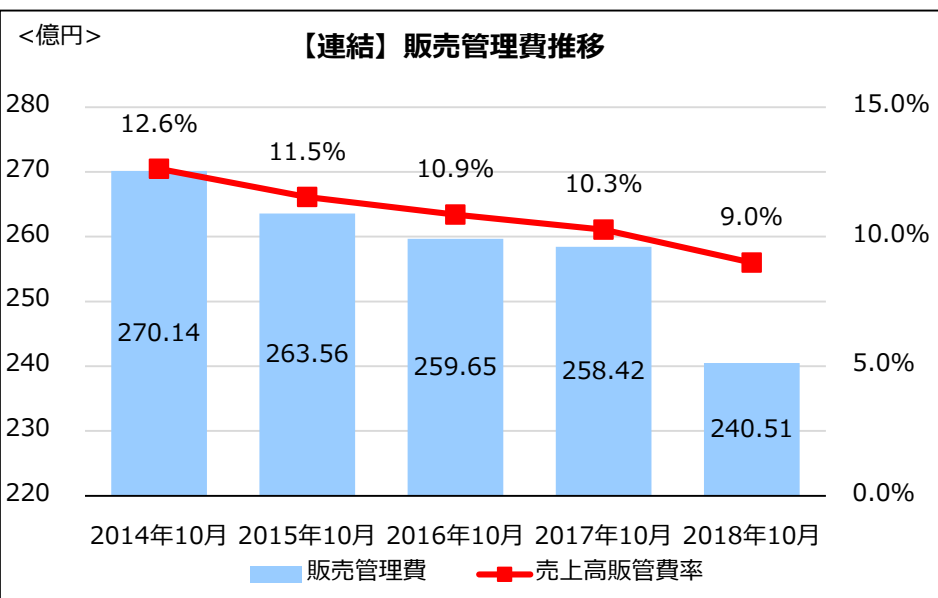
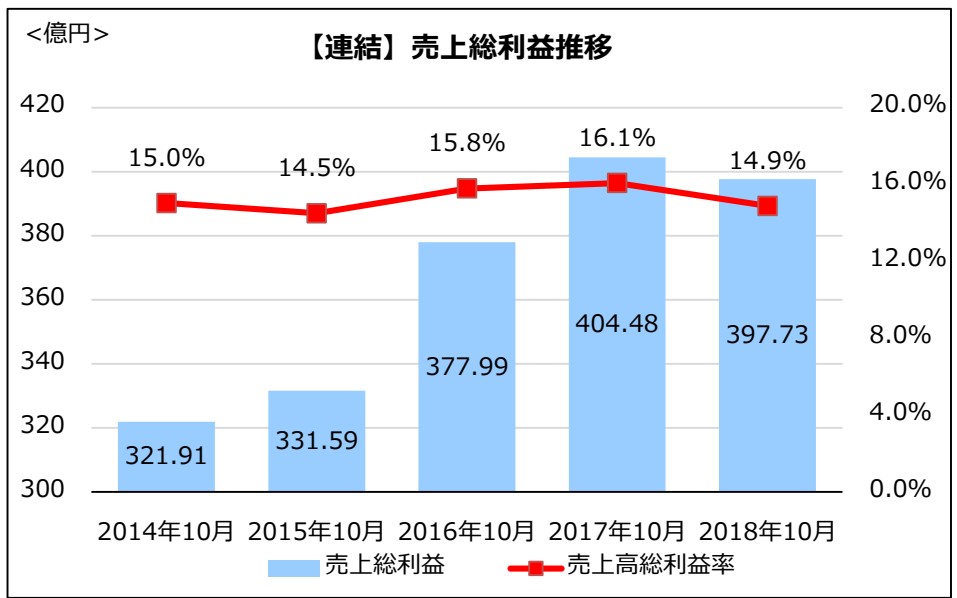
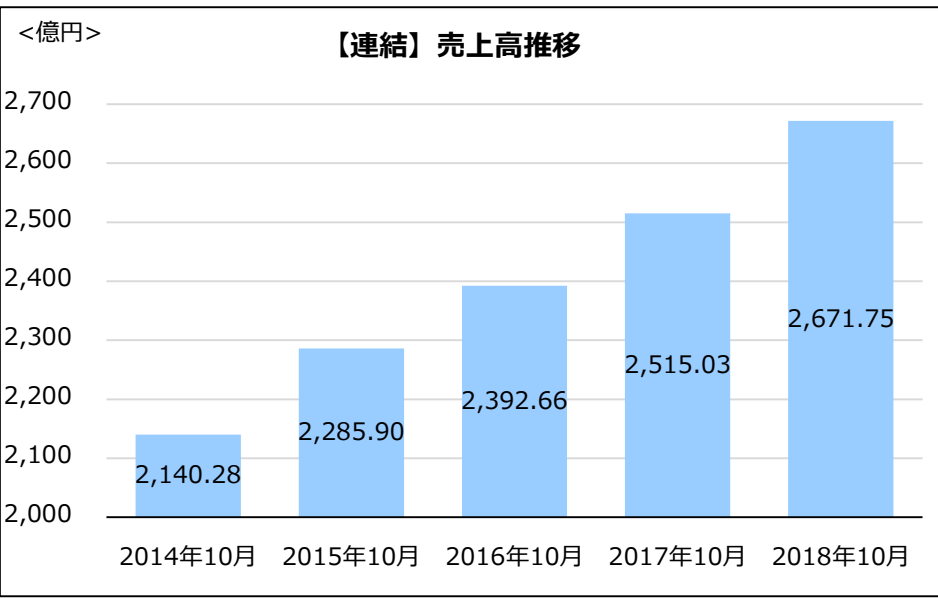
2018年12月

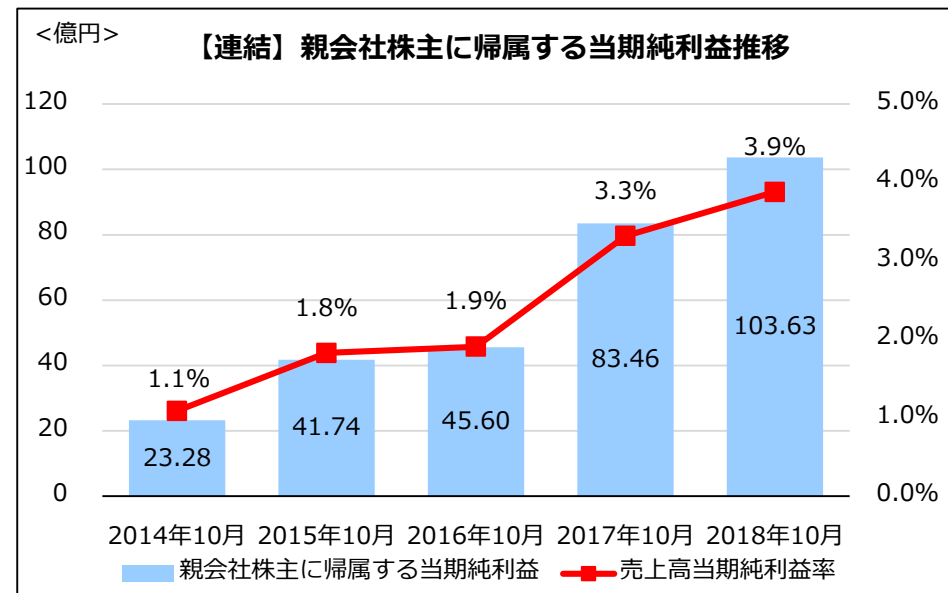
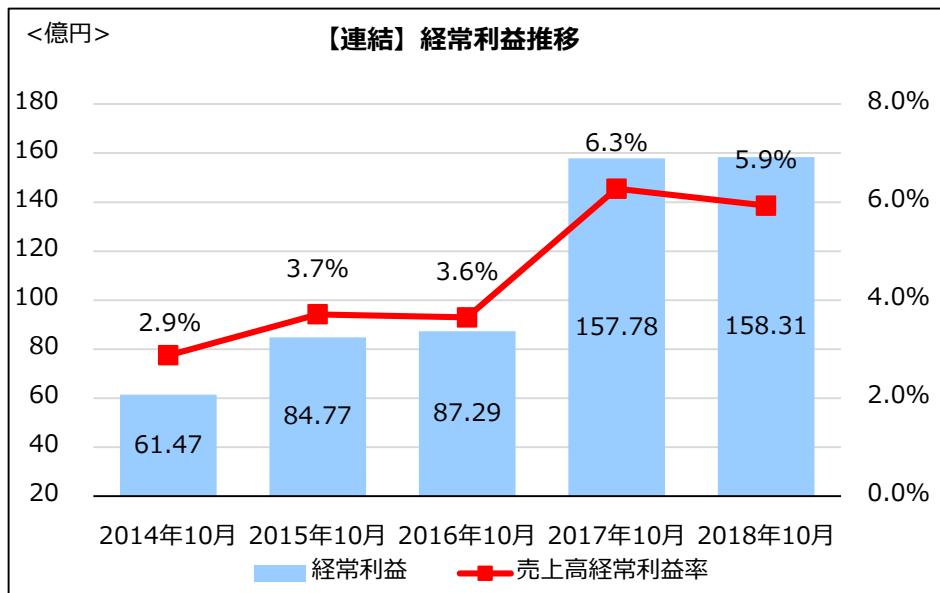


神戸物産

KOBE BUSSAN CO., LTD.

●連結業績及びハイライト	1
●業務スーパー事業	3
●業務スーパー店舗数推移	4
●東京23区内の業務スーパー店舗一覧	5
●業務スーパー出荷実績	6
●当社の強み“商品力”	7
●神戸クック事業	8
●クックイノベーション事業	11
●エコ再生エネルギー事業	13
●その他の事業（ガレオン）	15
●株主還元策	16
●2019年10月期 連結業績予想	17





【業績ハイライト解説】

●売上高

主力事業である業務スーパーの既存店が好調に推移、堅調な新規出店により増収を継続

●売上総利益

仕入れコストの増加と、クックイノベンチャー事業の不採算店舗閉鎖などにより減少

●販売管理費

クックイノベンチャー事業の不採算店舗閉鎖による、人件費や家賃等の圧縮により、効率的な経営を実現

●営業利益

販売管理費の削減や、食品製造子会社の伸長により、増益を継続

●経常利益

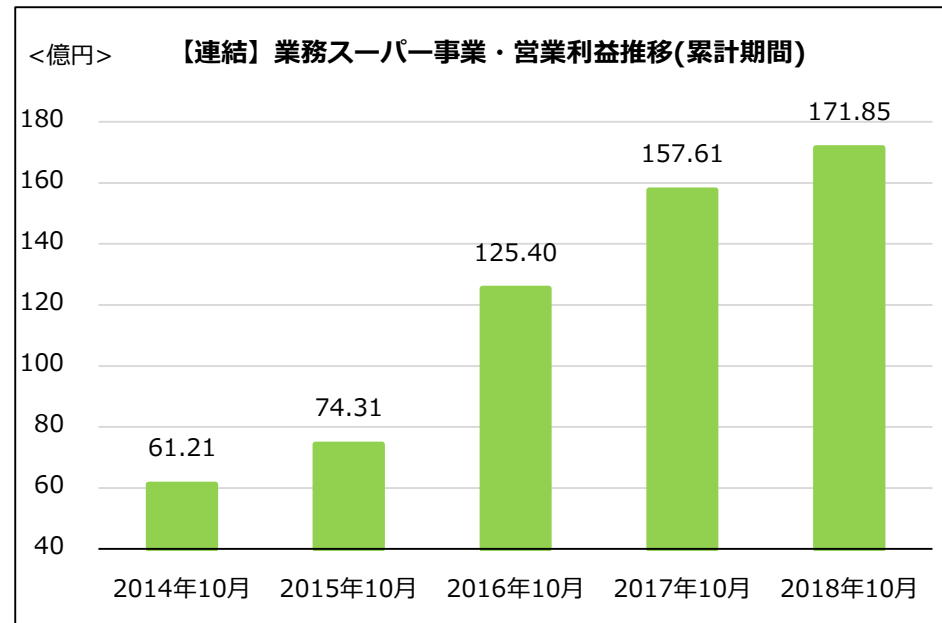
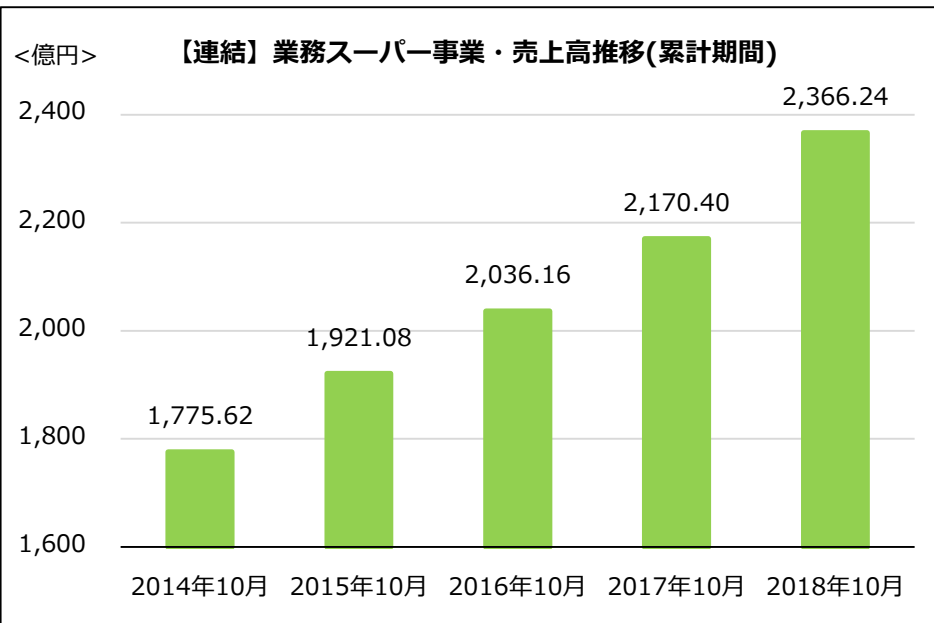
ドル円の為替レートが2017年10月末よりも円高に進んだ事により、デリバティブ評価損などを計上

●親会社株主に帰属する当期純利益

2017年1月に発生した食品製造子会社での火災に対する保険金収入や、外食子会社の売却益などを計上

当社売上の約8割を占める主力事業です。業務スーパーFC本部としての加盟店への卸売やロイヤリティなどの他、自社グループ工場の損益もこのセグメントに分類されます。

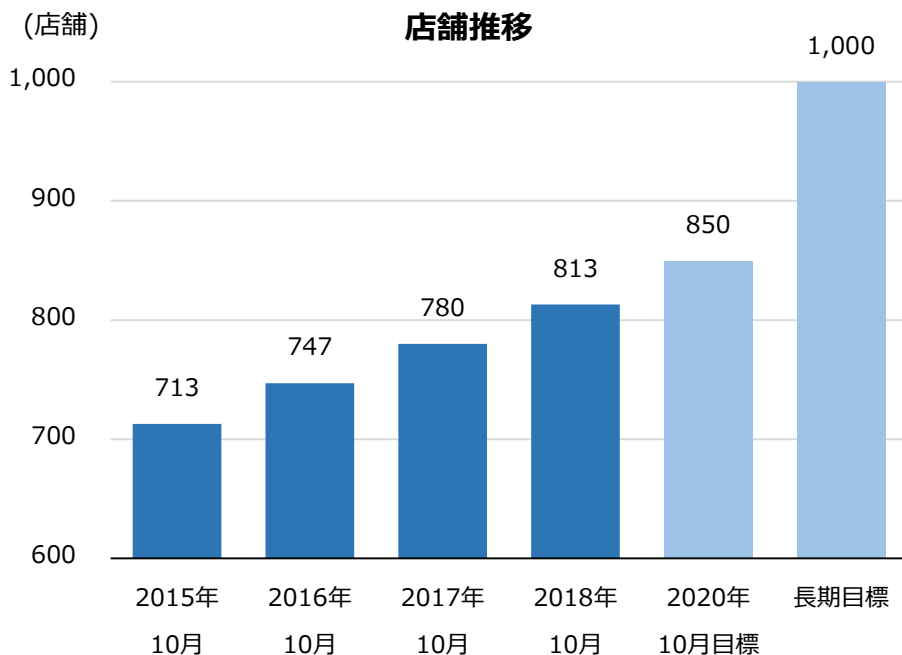
- 引き続き増収・増益トレンドを継続
- PB比率30%を達成
- 全国に813店舗展開（2018年10月末現在）



第33期**33**店舗の純増

目標達成率**110%**（第33期純増目標：30店舗）

東日本への出店が好調に推移



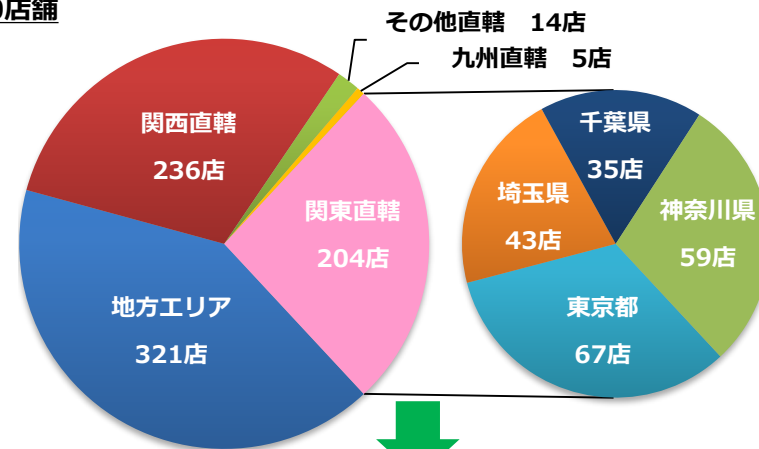
契約概要
・
加盟条件

加盟料 216万円（税込）
 保証金 1,000万円
 ロイヤリティ 仕入れの1%
 発注システム使用料 月額3万857円（税込）

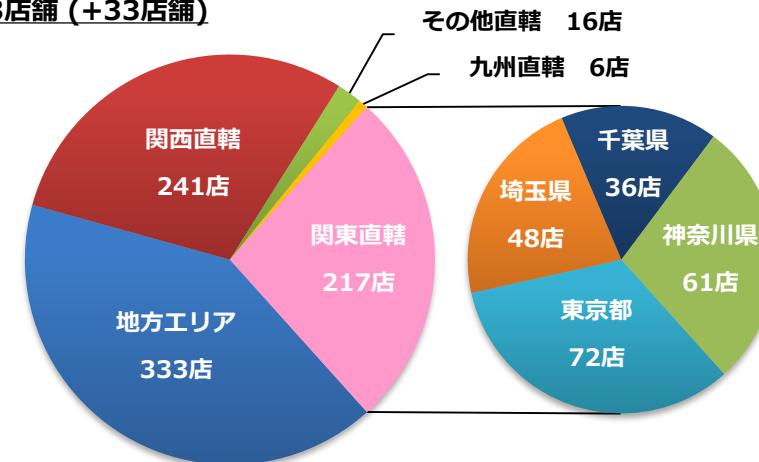
◎地方エリアは別条件となります。

地域別の店舗数

2017年10月末
780店舗

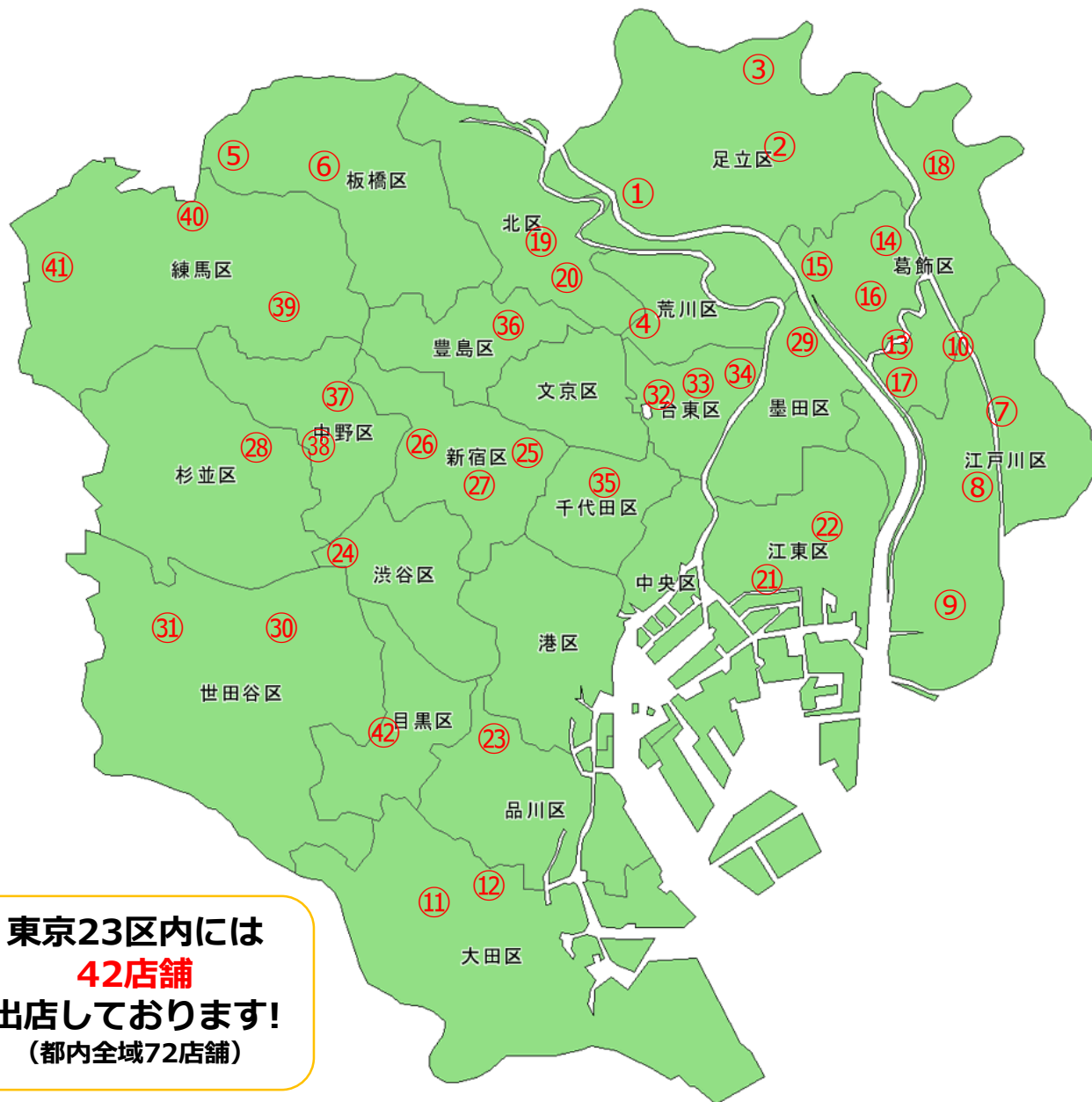


2018年10月末
813店舗（+33店舗）



関東直轄：東京都・千葉県・神奈川県・埼玉県
 関西直轄：大阪府・京都府・兵庫県（淡路島除く）・奈良県・和歌山県・滋賀県
 九州直轄：福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県
 その他直轄：北海道
 地方エリア：上記以外の県

東京23区内の業務スーパー店舗一覧（行政区画名五十音順）

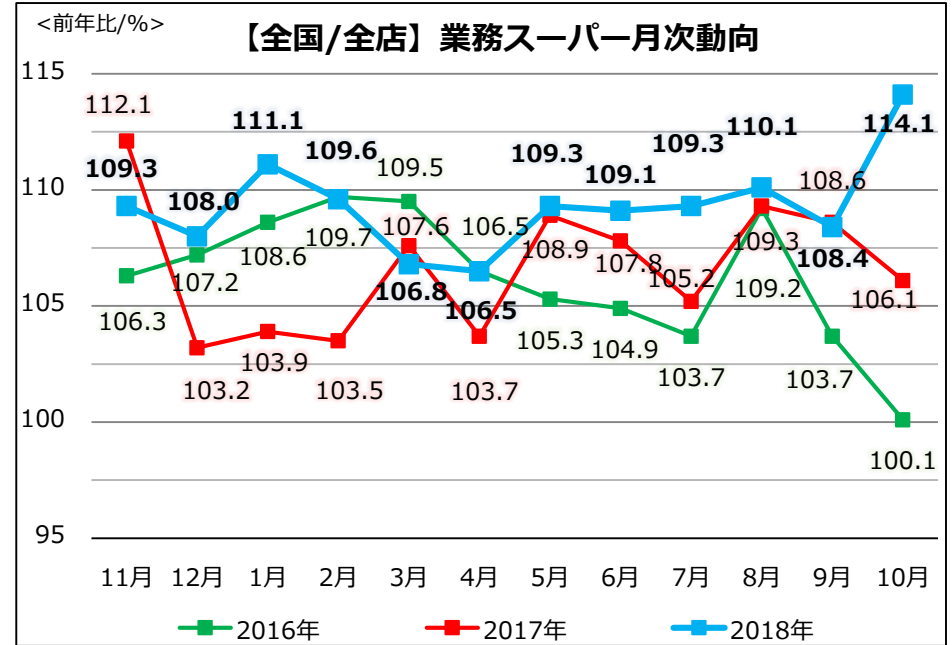
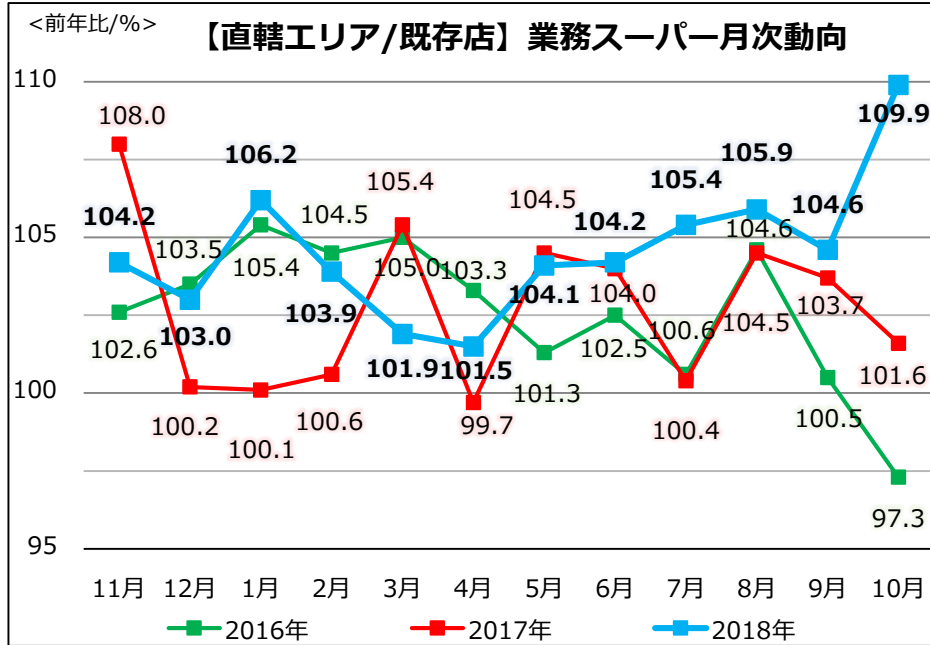


足立区	①	扇店
	②	中央本町店
荒川区	③	花畑店
	④	三ノ輪店
板橋区	⑤	成増店
	⑥	蓮根店
江戸川区	⑦	鹿骨店
	⑧	瑞江店
	⑨	葛西店
	⑩	小岩店
	⑪	池上通り店
大田区	⑫	平和島店
	⑬	奥戸店
葛飾区	⑭	亀有店
	⑮	綾瀬店
	⑯	立石店
	⑰	新小岩店
	⑱	金町店
	⑲	王子店
北区	⑲	王子店
	⑲	田端店
江東区	⑲	石島店
	⑲	亀戸店
品川区	⑲	武蔵小山店
渋谷区	⑲	笹塚店
	⑲	新宿榎店
新宿区	⑲	新宿大久保店
	⑲	東新宿店
杉並区	⑲	高円寺店
墨田区	⑲	墨田店
世田谷区	⑲	梅ヶ丘店
	⑲	粕谷店
台東区	⑲	上野広小路店
	⑲	上野公園店
	⑲	浅草店
	⑲	神田店
千代田区	⑲	神田店
	⑲	上池袋店
豊島区	⑲	東中野店
	⑲	中野弥生町店
練馬区	⑲	練馬店
	⑲	練馬駅前店
目黒区	⑲	保谷店
	⑲	西小山店

東京23区内には
42店舗
出店しております!
(都内全域72店舗)

* 2018年10月末時点

■引き続き既存店が通期104.5%で好調に推移



【業務スーパーへの出荷実績(前年比) : %】

		2018年10月期														
		11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	上期	下期	通期
直轄エリア	既存店	104.2	103.0	106.2	103.9	101.9	101.5	104.1	104.2	105.4	105.9	104.6	109.9	103.4	105.7	104.5
	全店	110.0	109.0	112.4	110.7	107.9	105.5	108.4	108.6	108.9	109.5	108.5	113.8	109.1	109.6	109.3
全国*	全店	109.3	108.0	111.1	109.6	106.8	106.5	109.3	109.1	109.3	110.1	108.4	114.1	108.4	110.0	109.2

全国全店
43ヶ月連続
前年比
100%超え

*全国は直轄エリア+地方エリア店舗への商品出荷実績となります。

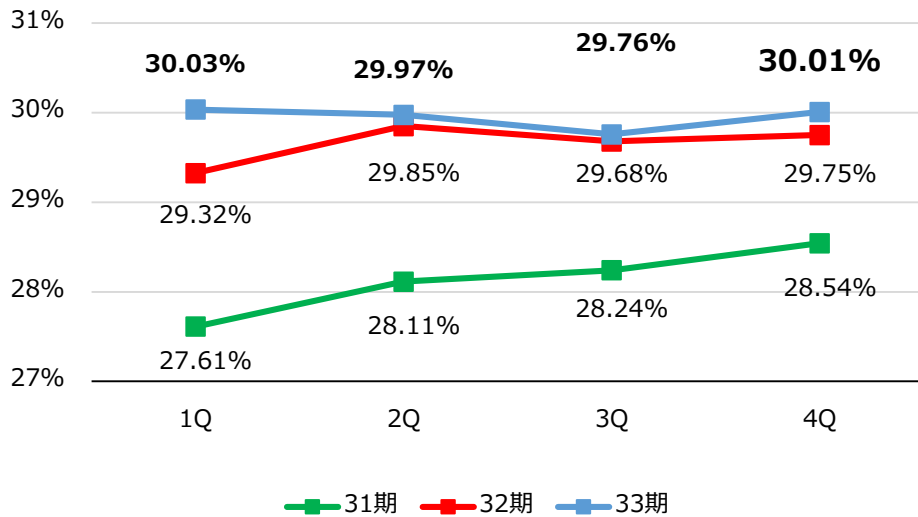
オリジナル商品の強化

国内の自社グループ工場数は21工場となり、その所有数は**日本一(※)**の規模です。そこで製造される業務スーパーにしかない品質と価格のオリジナル商品は、多くのお客様から支持されています。

また、約40ヶ国から直輸入している「世界の本物」の食品は、世界各国の本場の味をリーズナブルにご家庭でも味わっていただくと、大変好評です。

※大手調査機関により、食品小売業界で当社より売上規模が大きく、目付100%出資の国内食品工場を所有している会社を対象として2014年8月に調査

PB比率推移



※2018年第3四半期より集計方法を変更いたしましたので過去のデータとの連続性はありません

売れ筋PB商品（一例）

■ 自社グループ工場製造商品



徳用ウインナー
1,000g 460円



上州高原どり もも肉
吉備高原どり
2kg 1,500円



天然酵母食パン
1本 185円

■ 自社輸入商品



ブラジル産鶏もも正肉
2kg 648円



ベルギー産フライドポテト
1kg 195円



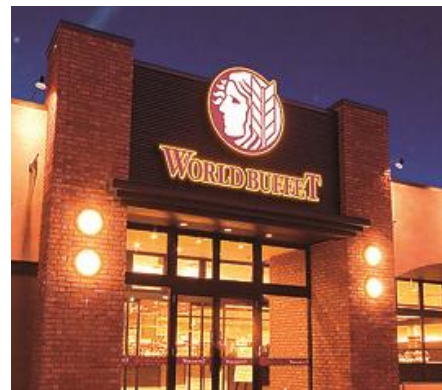
ブロッコリー
500g 148円

※価格は税別です

店舗や時期により商品の取扱いや価格が異なる場合があります

当社が主体となり直営またはF C本部として行っている外食・中食事業です。
 ビュッフェレストラン「神戸クック・ワールドビュッフェ」や、惣菜店「馳走菜」「Green's K」がこのセグメントに分類されます。

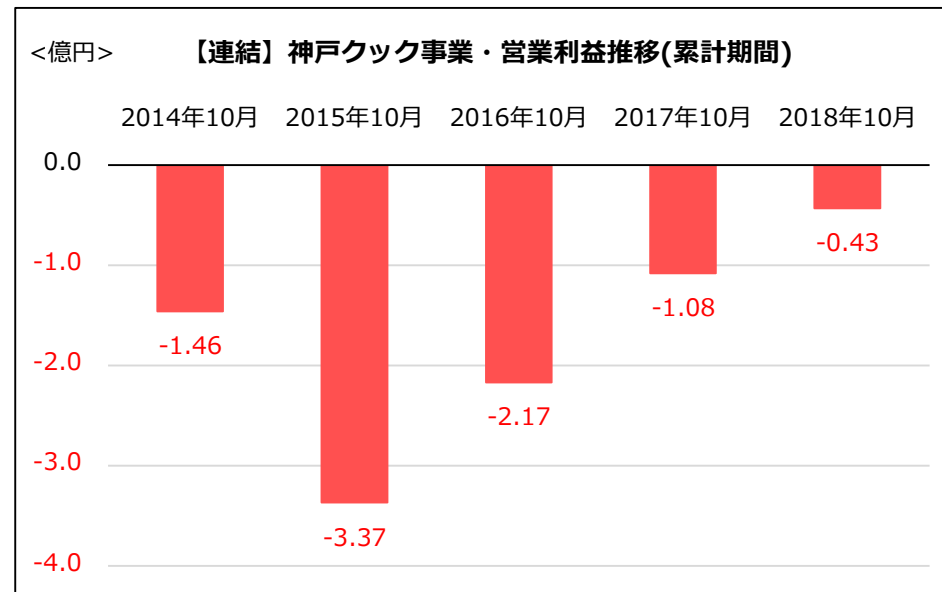
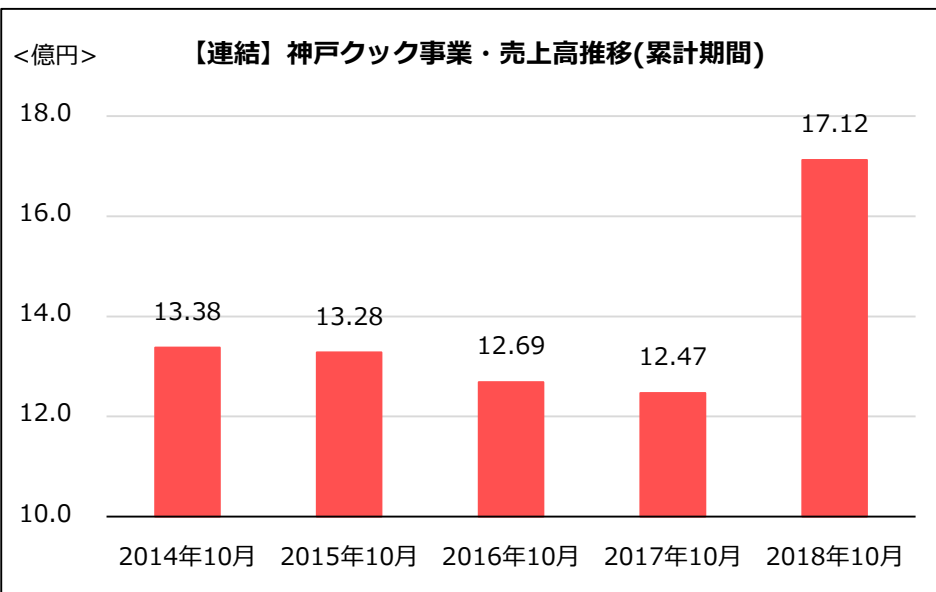
- 外食の新店効果で売上高が伸長
- 中食事業で新業態立ち上げ
- 11月以降も外食・中食ともに順調に出店



神戸クック・ワールドビュッフェ



馳走菜



神戸クック・ワールドビュッフェ

店舗数：19店舗（2018年10月末現在）

第33期3店舗の純増（第33期純増目標：4店舗）

11月に栃木県宇都宮市・福井県福井市にも新規出店



神戸クック・ワールドビュッフェの強さ

- 平均270席以上のゆったりとした空間で、世界各国の様々なお料理をビュッフェスタイルでご提供
- 五感を刺激する臨場感あふれるライブキッチンで「できたて」をお届け
- 神戸物産グループの仕入れ力や独自の食品加工ノウハウを駆使し、クオリティの高いオリジナルメニューをリーズナブルな価格で提供可能

積極的な新規出店を計画

- 積極的な店舗拡大にかじを切り、全国各地で新規出店を進める
- 大阪府、静岡県、石川県に続き、7月13日に福岡県久留米市に九州初出店
- オープンの様子は地元のメディアにも多数取り上げられ、非常に注目を集めている



馳走菜・Green's K

合計店舗数：11店舗（2018年10月末現在）

2月より「Green's K」の一部店舗を馳走菜に業態変更
今期、馳走菜の出店数3店舗(11月には横浜市にも出店)

「業務スーパー」に併設するなど全国に拡大予定で、シナジー効果に期待

お惣菜・お弁当
馳走菜
CHISOUNA



馳走菜・Green's Kとは

- 自社グループ工場で製造された専用の食材などを店舗で調理し、出来立ての惣菜やお弁当をご提供する惣菜店
- お客様のニーズに的確にお応えするため、お店で作り立てのものをパック詰めし、リーズナブルなお値段でご提供



徹底したオペレーションの単純化

- **メニューを絞り固定化**
⇒ 品質の安定と作業効率アップで少人数での運営が可能に
- **作業工程の少ない半製品を使用**
⇒ 調理技術が不要のため、少ない教育時間で即戦力へ
- **誰でも常に安定した商品を提供可能**
⇒ 品質安定化及び作業効率化で「店舗責任者」の負荷軽減



⇒人財確保が困難でも運営できるイージーオペレーションなので、スピード感ある出店が可能

当社連結子会社であるジー・コミュニケーショングループが運営する外食事業などが当セグメントに分類されます。中でも、株式会社ジー・テイスト（東証JASDAQ:2694）が運営する外食事業が主な事業です。

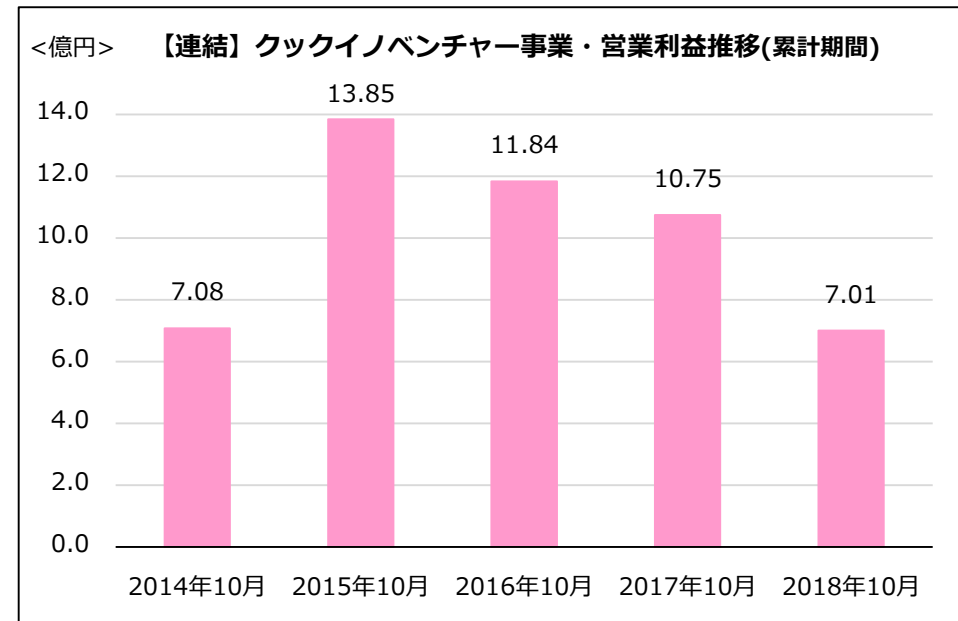
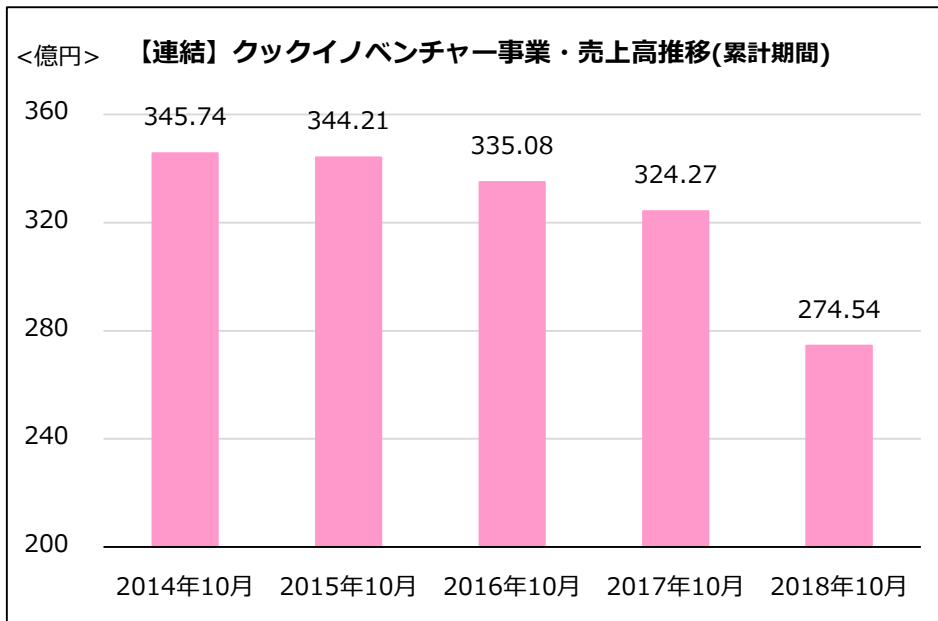
- 不採算店舗の閉店・教育事業FC契約終了により減収減益
- 継続的なブラッシュアップや積極的な店舗改装で業績確保に努める
- 積極的なM&Aで外食店舗は700店舗超えに



業態：十六穀米オムライス&ドリア専門店
店名：おむらいす亭



業態：焼き肉屋
店名：国産牛焼肉食べ放題 肉匠坂井



居酒屋業態で業績が低迷、加えて教育事業においてフランチャイズ契約終了したことにより、経営成績は減収減益となりました。一方、焼肉業態やファーストフード業態等、好調業態の新規出店を積極的に推し進めたことにより業績が堅調に推移し、一定の成果を上げることができております。

<好調業態の取り組み>

- ⇒国産牛焼肉食べ放題 肉匠坂井では直営店、フランチャイズ店を含め8店舗の出店を進め2018年3月末時点で19店舗となりました。
- ⇒おむらいす亭はサラダバーやタッチパネル式のオーダーシステムを導入し、業態のブラッシュアップを進め、お客様に好評いただいております。

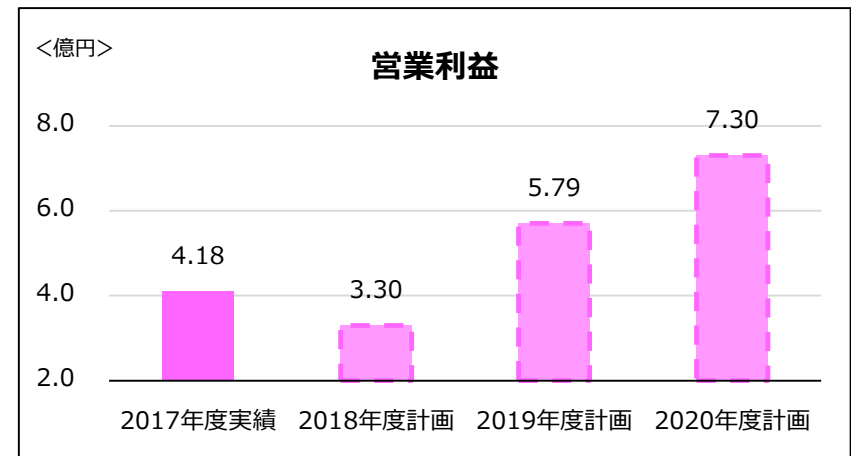
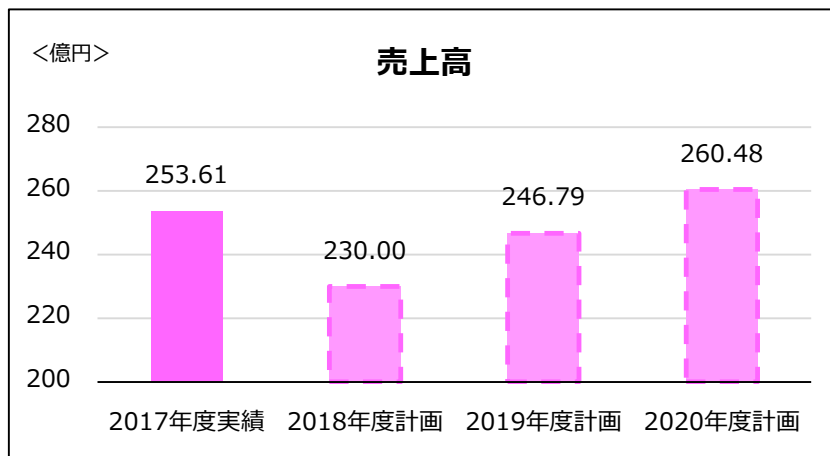
今後においては、成長が見込める焼肉業態、ファーストフード業態に経営資源を集中し、積極的な出店投資を推し進めてまいります。一方、既存業態のQSC及び店舗運営力の強化を図るとともに、不振店の改善及び撤退に取り組み、全体業績の着実な回復に努めます。

株式会社ジー・テイスト 中期経営計画

株式会社ジー・テイストは2018～2020年度（2019年3月期～2021年3月期）の3カ年を対象とした中期経営計画を作成しております。

【Point】焼肉業態を中心とする好調業態への転換：「国産牛焼肉食べ放題 肉匠坂井」は3カ年で50店舗の出店を計画
2018年度をもって不採算店舗の整理による減損処理等も一巡

⇒ 2019年度（2020年3月期）以降は増収増益及び当期純利益の黒字化へ



太陽光発電事業を中心とした再生可能エネルギー事業です。また、2018年8月より北海道白糠郡白糠町にて木質バイオマス発電所の売電を開始いたしました(6.25MW)。

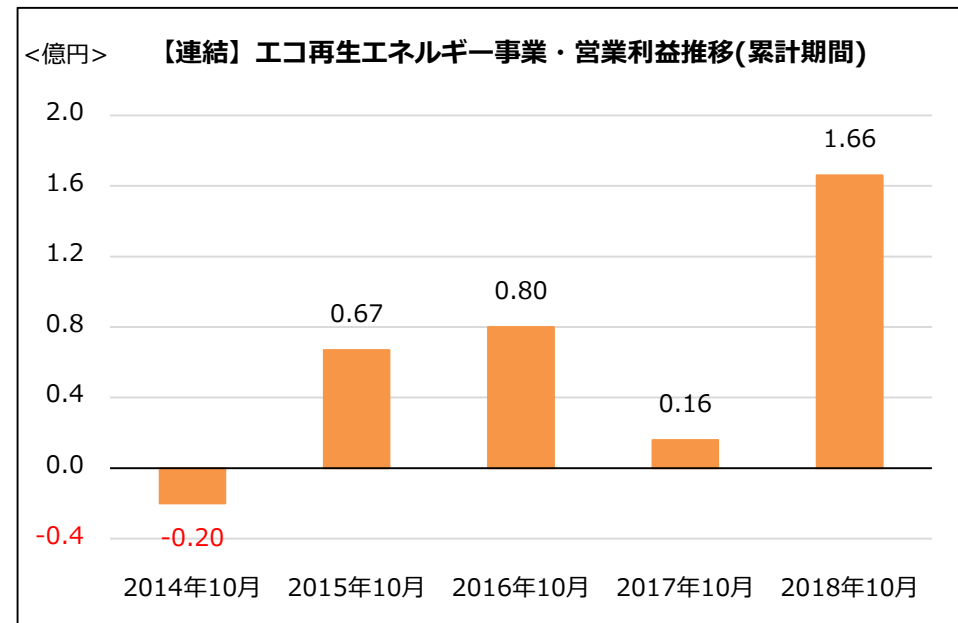
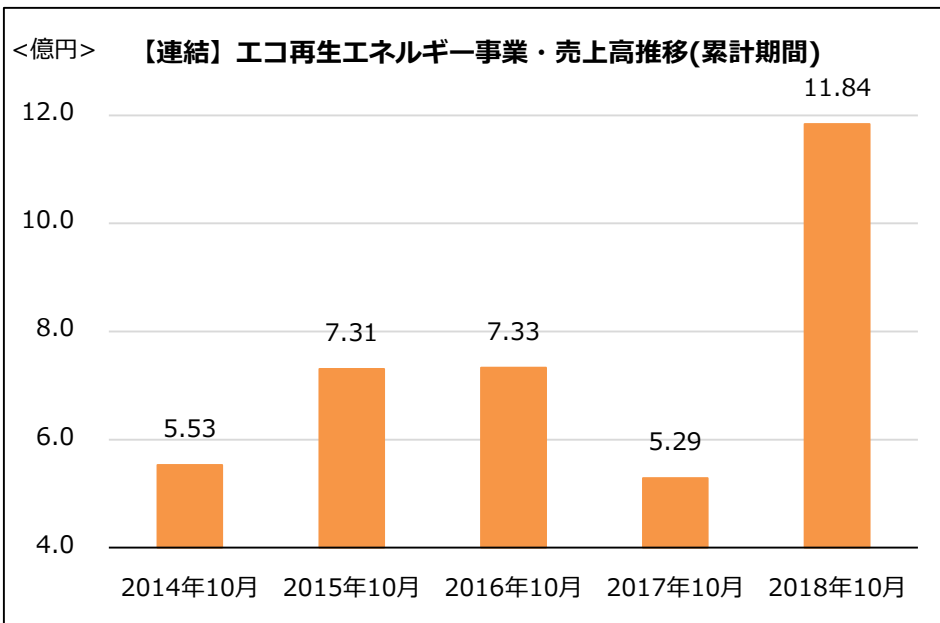
現在は大分県玖珠郡九重町にて地熱発電も行っております(50kW)。



自社太陽光発電所



自社木質バイオマス発電所



全国の発電所

その他稼働予定発電所（一例）

那智勝浦太陽光発電所（2019年2月予定） 1.6MW

釧路太陽光発電所（2019年3月予定） 2.4MW

2018年8月稼働！

【バイオマス】
北海道 白糠町
6.25MW

【太陽光】
北海道 4箇所
3.4MW

【太陽光】
滋賀県 1箇所
0.5MW

【太陽光】
兵庫県 4箇所
4.5MW

【太陽光】
福岡県 1箇所
0.9MW

【太陽光】
茨城県 1箇所
2.4MW

【地熱】
大分県 九重町
50kW

【太陽光】
徳島県 1箇所
2.1MW

【太陽光】
大阪府 2箇所
4.2MW

太陽光合計 18.0MW
バイオマス 6.25MW
地熱 50 kW



GALLEON

【新しいお客様の取り込み】

業務スーパーでは世界各国の輸入品を扱っておりますが、業務スーパーのお客様の需要とマッチしないものがございました。ガレオンでは輸入食品を求めてご来店いただく方が多く、業務スーパーとは異なるお客様を取り込むことに成功しております。また、お店によってお菓子のつめ放題など新しい取り組みを行っております。

【都市部への出店】

ガレオンは小型店舗であるため、これまで業務スーパーでは出店しにくかった駅ナカやショッピングモールなど、都市部での出店も可能です。

【ガレオンと業務スーパーの相乗効果】

ガレオンの店舗が増え、スケールメリットが生まれることで、その商品を業務スーパーでも扱えるようになり、業務スーパーの品ぞろえの強化にもつながります。

クイーンズスクエア横浜店（横浜市西区）



直営

直営店として、店舗オペレーションの確立や商品動向分析を行っております。

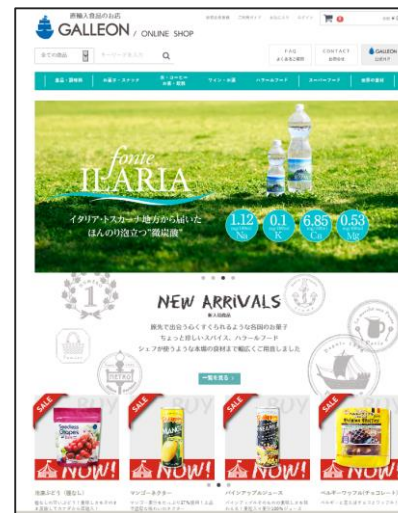
モリシア津田沼店（千葉県習志野市）



FC

これまでの店舗運営によるデータやお客様のご意見を反映し、今後のモデル店舗となる予定です。

ガレオンオンラインショップ



2017年より新たな取り組みとして運営しております。当社バイヤーが世界各国から仕入れたこだわりの食品を、日本全国から注文いただけます。また、ハラール食品のラインナップも充実しております。

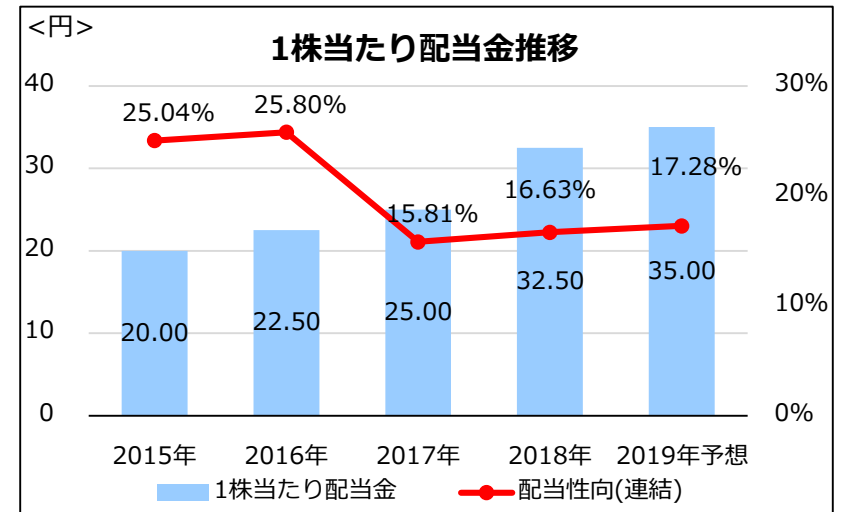
ガレオン公式オンラインショップ
<https://www.galleon.shop/store/>

配当金推移

当社は株主様に対する利益還元を重要な経営課題の一つとして認識しております。事業拡大のための資金を確保しつつ、経営成績に応じた利益配分を行うことを基本方針としております。2020年の連結配当性向を20%まで増加させることを目指し、段階的に連結配当性向を増加させていきたいと考えております。

2019年10月期は、例年通り年1回の期末配当で、1株当たり65.00円を実施する予定です。

※2015年2月及び11月、2018年11月にそれぞれ1:2の割合で株式分割を実施しておりますので、右のグラフは株式分割を考慮した金額となっております。



株主優待制度

毎年10月31日を基準日とし、当社株式を100株以上保有の株主様に、全国の業務スーパー各店でお使いいただける「業務スーパー商品券」をお届けしております。株主優待をきっかけに業務スーパーをご利用いただき、当社の主力事業である業務スーパーの魅力が株主様によりよく知っていただきたいと考えております。

保有株式数	優待の内容
100株以上500株未満	業務スーパー商品券3,000円分
500株以上1,000株未満	業務スーパー商品券10,000円分
1,000株以上	業務スーパー商品券15,000円分

※ご希望の株主様には、商品券と引換えに額面相当のPB商品詰め合わせをお送りしております。

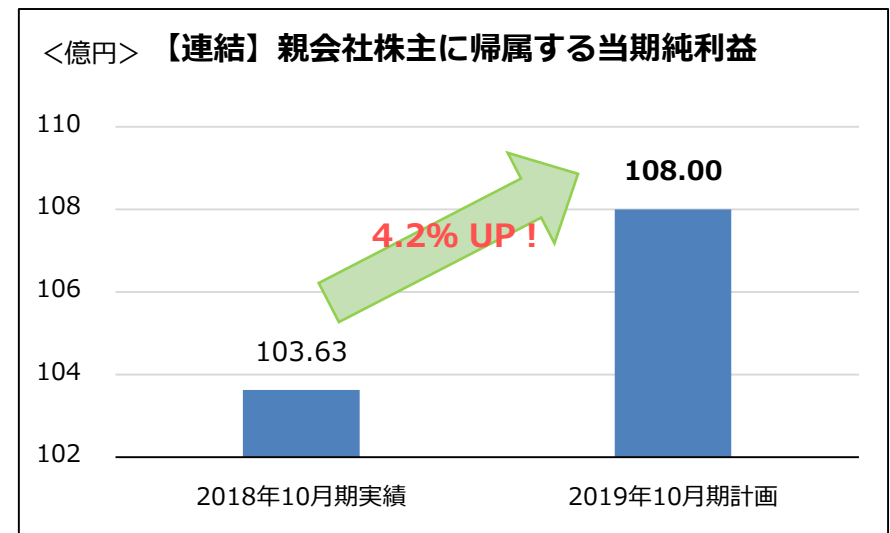
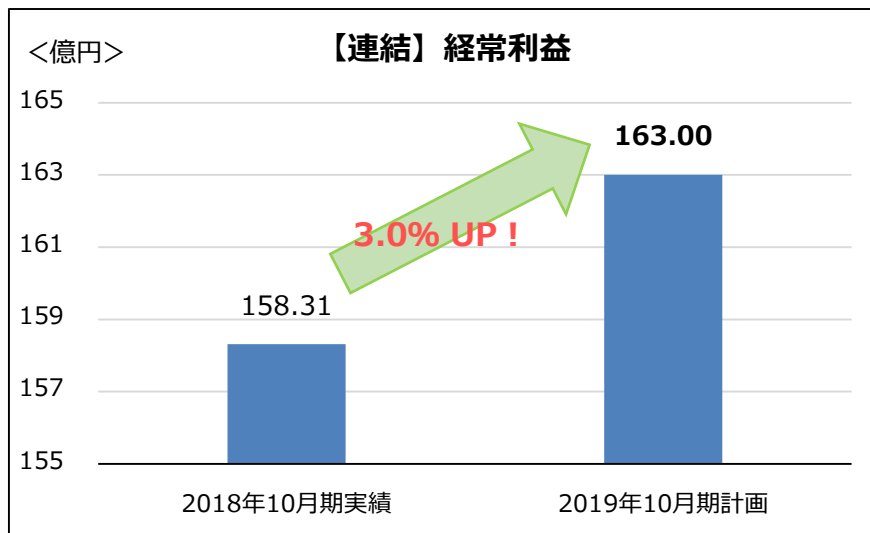
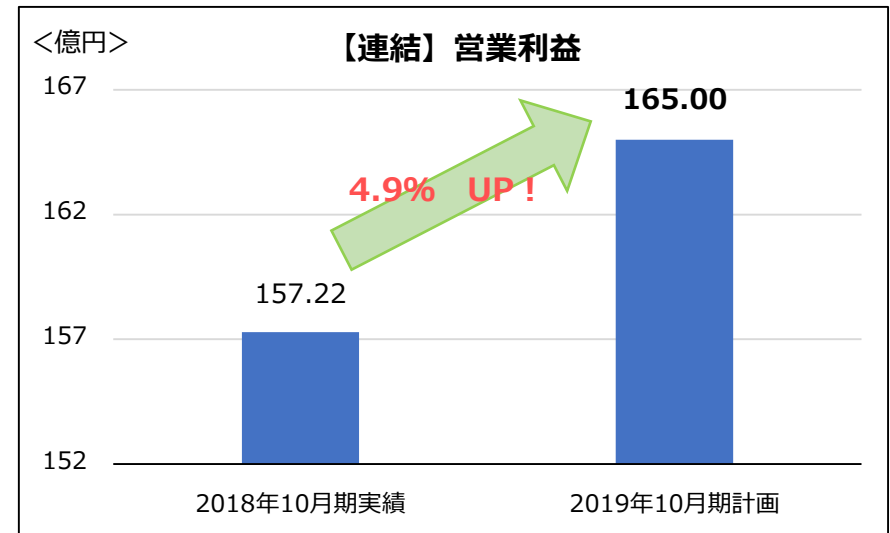
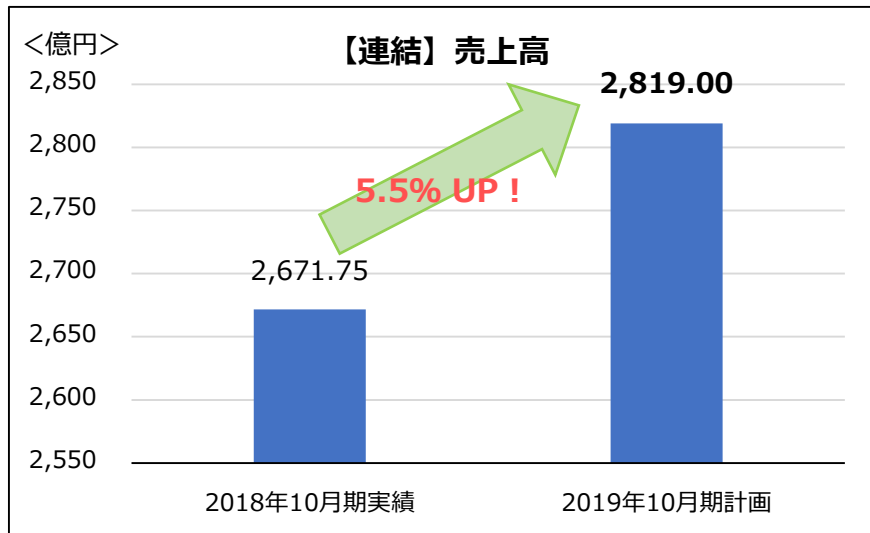


業務スーパー商品券



P B商品(3,000円分の商品例)

- 引き続き業務スーパー事業に注力し、純増**25**店舗をめざします
- 店舗増加に伴い、製造子会社業績の拡大も図ります



- 本資料には、2018年12月14日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれます。
- 経済環境の変動など不確定要因により実際の業績が記載の予想と異なる可能性がありますのでご了承ください。
- 本資料は株式の購入の勧誘・奨励を目的としたものではありません。

～本資料に関するお問い合わせ先～
株式会社神戸物産
経営企画部 IR・広報 花房・柴田
TEL : 079-458-2848
FAX : 079-454-2300